

# おおき



議会だより

**追跡 リサーチ!!**

**あの質問、どうなった? — P2~3**

## 9月定例会・10月臨時会

平成28年度決算認定 ————— P4~5

決算審査特別委員会報告 ————— P6~7

補正予算、条例改正・こんなことが決まりました ————— P8~9

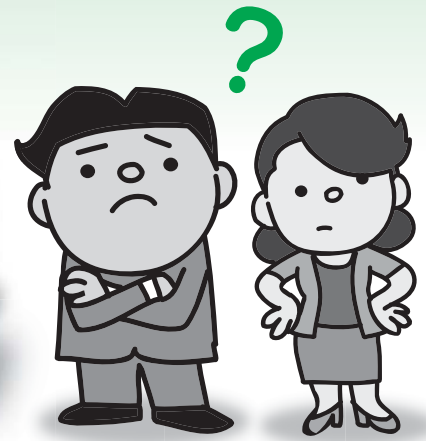
一般質問

ここが知りたい! 訴えたい! 町政を問う5人 ————— P11~15

No.128

2017.11発行

# 追跡 リサーチ!!



～周辺環境への影響と対策は？～



荻方 英二 議員

平成28年12月議会

プラスチックリサイクル  
事業について

大木町の現状から推測すると、  
搬入量が1200tの段階で、  
搬入台数はパッカー車が  
10～20台程度と10tトラックが  
1週間に1台程度とみている。

答弁



大木町環境プラザ西側町有地に建設予定であり、  
地元説明会も開催予定である。

(五反田、道本、堀田の3箇所で実施済)

その後

この事業は積極的に推進していく理由として、もったいない宣言を掲げている町の目標を達成するためにはプラスチックの分別、資源化事業を強化・推進することが不可欠である。

住民説明会等で周辺地域の住民にも一定の理解を得た。今後とも周辺環境への影響については十分に配慮し、徹底していく。



五反田プラスチックリサイクルセンター  
建設予定地

# あの質問、 どうなった？

議会での質問や意見は  
町政にどのように反映されているのでしょうか。

## ～大木町農政の未来像は？～

古賀 泰弘 議員 平成29年5月議会

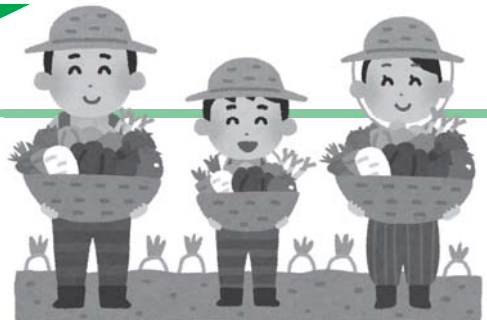
新規就農の受け入れは、  
計画的に実施しているか？



新規就農フェアや県農業大学校での新規就農相談会などでPRし、  
目標達成に努めていきたい。

答弁

若者の農業・農村参入及び定住促進事業に取り組み、毎年5名を目標に確保していくよう計画している。



その後

新規就農者の受け入れの際は新規就農者と面談を行い、諸要件を確認して、希望に応じた農地を探しマッチングを行っている。

青年就農者経営開始型給付金受給者は平成24年度から平成28年度までに、累計26件、32名となっている。



堅調に進む新規就農者の受け入れ

# 平成28年度

## 収支

平成28年度大木町一般会計歳入歳出決算での実質収支は1億7757万2千円の黒字

## 町税の収入状況

収入未済額 4991万2千円  
不納欠損額 98万9千円

## 町債(借金)・基金(貯金)の状況

町債の残高 51億4357万8千円  
基金の残高 35億3144万円

## 平成28年度大木町一般会計の主な事業

|                       |           |
|-----------------------|-----------|
| 子ども農村交流プロジェクト事業       | 268万1千円   |
| 出会い応援事業               | 485万1千円   |
| 地方創生加速化事業             | 4270万3千円  |
| 乳幼児医療対策費              | 5797万5千円  |
| 青年就農支援金               | 2550万円    |
| 狭あい道路整備等促進事業          | 1975万4千円  |
| 大莞小学校屋内運動場大規模改修事業(繰越) | 1億863万9千円 |

## 平成28年度大木町特別会計・水道事業会計決算状況

### 全員賛成で認定

|                 |             |         |             |
|-----------------|-------------|---------|-------------|
| 国民健康保険……(歳入)    | 19億2529万1千円 | (歳出)    | 19億5059万8千円 |
| 後期高齢者医療……(歳入)   | 1億5646万6千円  | (歳出)    | 1億5072万6千円  |
| 水道事業会計……(収益的収入) | 2億4246万6千円  | (収益的支出) | 1億8526万8千円  |
| (資本的収入)         | 1億9260万3千円  | (資本的支出) | 2億3930万6千円  |

## 平成28年度

### 大木町一般会計及び特別会計

### (国保、後期、水道)歳入歳出決算並びに基金の運用状況審査意見書

6日間に及ぶ審査の結果、各会計の歳入歳出決算、基金及び付属書は関係法令に準拠し、整理作成されており、係数は正確で内容も適正である。地方自治体の財政状況の厳しい中、限られた財源で事業の効率化及び経費の節減を図り、財政健全化に努められたことは評価できるが、今後も厳しい財政運営が想定され、健全で持続可能な財政基盤の強化に向け一層の努力を望む。

少子高齢化の進展や厳しい社会経済情勢の中、豊かで暮らしやすい大木町の実現のため、将来世代への過大な負担を残すことがないよう、引き続き費用対効果の観点から更に検討と改善を加え、より一層の健全な財政運営と重要な施策・課題に積極的に取り組む、各課の連携を図りながら適切に対処され、町民と行政との協働のまちづくりを推進し、更なる住民福祉の増進に努められるよう切望する。

代表監査委員 川村 和正  
監査委員 中島 和正

# 決算認定

## 第4回 定例会

平成29年第4回定例会が9月7日から22日まで開かれました。  
平成28年度決算・29年度補正予算・条例の一部改正などを  
認定・可決しました。

一般  
会計

歳出総額

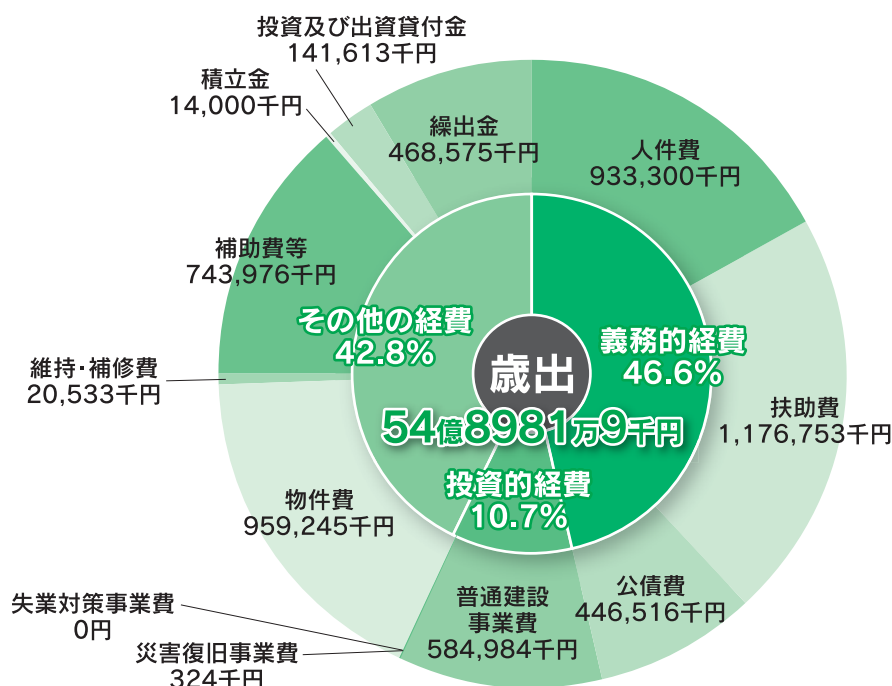
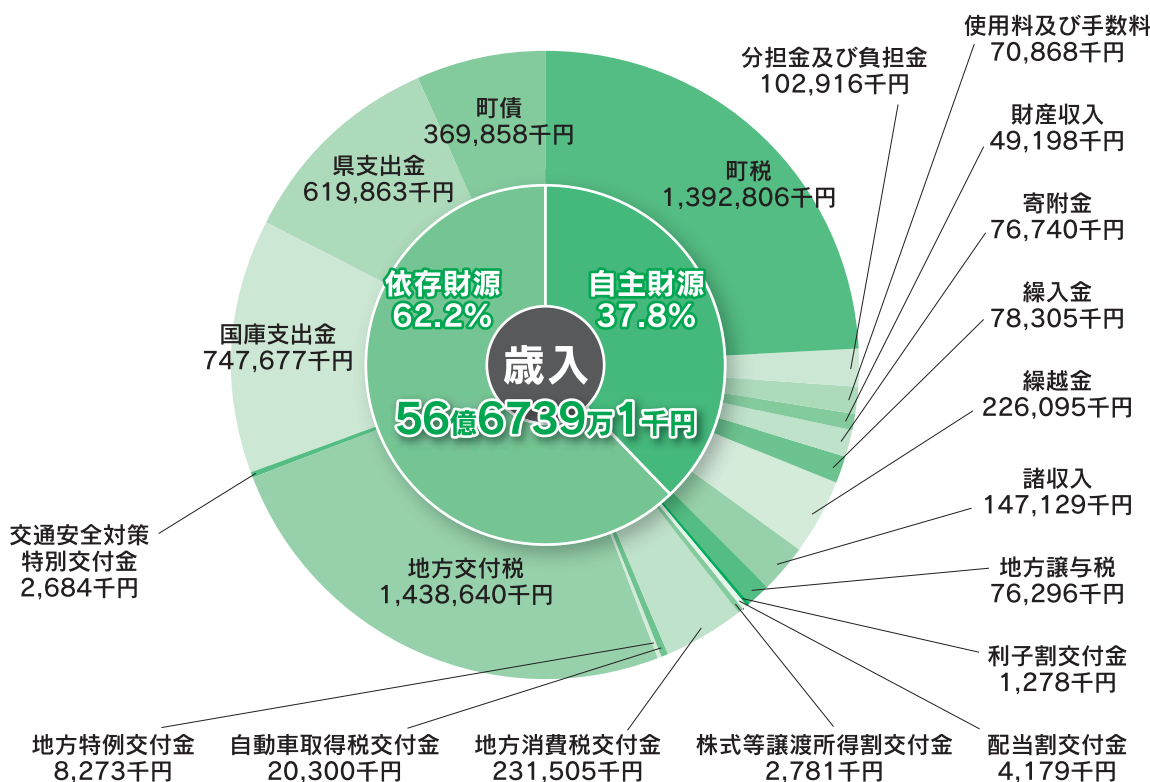
54億8981万9千円

歳入総額

56億6739万1千円

差引残額

1億7757万2千円



# 第2決算審査特別委員会報告

## 福祉課

- 包括支援センターは主任ケアマネージャー、保健師、社会福祉士の資格が必要な職場である。今年度10月に介護予防支援の体制も整い今後より多くの人々が支援を受けられるようお願いした。
- 社会福祉協議会については施設不足等の大きな課題がある。様々に発生する社会事象を踏まえ今後も人員体制、サービス体制を整えながら取り組むことをお願いした。



浄化槽点検の様子

## 環境課

- クリーク等水質検査業務委託料の不用額が出ている。水質汚染が発生した時の予算は必要と思われるが、汚染されてからの対応ではなく、水質改善に向けた対策や町民への啓発活動が重要であり、予算編成の際の改善工夫をお願いした。
- 合併処理浄化槽維持管理について今後の取組みとして飲食店や事業系の単独浄化槽からの合併浄化槽への切り替え助成金など、クリーク保全・改善の為より一層推進されるよう望む。

## 学校教育課

- 学校給食センターでは、食材の異物混入対策については、食材管理は適切に行っていると説明を受ける。また機材等の修繕料不用額は、修繕の事案が発生したときの予算として必要と思われるが、機械メーカー等に耐用年数等を聞き、修繕計画を立てる必要性を指摘し要望した。
- 農地農作物減収補償費は見直しに向けて努力するよう要望した。

## 生涯学習課

- 研修会等の費用で不用額が生じている。研修会や会議等の日程時間等をできる限り調整し、参加を促していただきたいと要望した。
- 保健体育総務費では体育館の使用に関し、シルバー人材センターに管理を一部委託されているが利用時間等の制約を一部緩和できないか検討をお願いした。

## 子ども未来課

- ひとり親家庭医療対策費は対象となるひとり親家庭が年々増加傾向にあるとの説明を受ける。
- ネグレクト保護者など育児放棄にならないよう関係課との連携を密に行うよう要望した。
- 学童保育所増築工事については今年度より営繕担当係ができたので、特に伸縮継ぎ手部分など重要な箇所については注視するよう要望した。

## 税務町民課

- 人権推進協議会委員会報酬で不用額が出ている。できる限り全員出席できるように日程調整など行い委員の自己研鑽に努められるよう要望した。



アクアス視察

## 健康課

- 予防費の中で骨髄ドナー推進事業奨励金の予算が不用額になっているが有意義な事業であり、広報に努め、骨髄ドナーの推進に努めるよう要望した。
- 健康福祉センターは年間19万人の利用があるが、建物の維持管理面では多額の支出が例年続き、昨年同様に検討委員会・第三者検討委員会の設置を引き続き強く要望した。

## 平成28年度大木町国民健康保険特別会計歳入歳出決算審査

- 28年度は急激な高齢化の進行や医療技術の高度化により医療費が増加し、2530万6777円の赤字決算となっている。
- 大木町国民健康保険の実績は年間平均世帯数1816世帯、被保険者数3383人、医療費総額14億1290万3378円。一人当たり41万7648円。
- 今後は特定健診の受診率向上を図り、医療費抑制に努め国民健康保険制度が安定した運営になるよう要望した。

## 平成28年度大木町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算審査

- 実質収支額574万350円の黒字決算となっている。
- 運営は広域連合が行い、町のかかわりは被保険者と直接関係する異動、保険証の交付等の窓口業務や納付書の発行、保険料の徴収業務等である。

出席委員全員一致により、原案の通り可決。

# 第1決算審査特別委員会報告

厳しい財源のもと歳出削減の努力も見受けられ、適正な予算執行がなされており、これからも活性化と効率化を期待する。また、一方で最も大切な住民サービスの低下がないよう切に望む。執行計画及び状況を分析し財源の有効活用を図り、次なる予算編成と財政運営に活かされることを期待する。

**総務課** 自主防災会は、区長を中心とした組織編成となっており、役職交代時の継続性が課題であるため、今後消防団OBの活用及び防災士の育成について自主防災会と検討するよう要望した。  
総合防災訓練の内容は、イベント的ではなく実効性のあるものを検討するよう要望した。

**企画課** 男女共同参画事業の構成員にはPTA関係者や子育て世代の男女にも参画してもらうよう要望。  
木佐木地区協議会については、協議会設立準備委員会を設立し準備を進めている。校区協議会及びコミュニティセンターの役割・目標は、行政区を基礎的なコミュニティと位置づけ、これを補完する役割を持ち、今後は状況や条件に応じて校区協議会へ権限や財源の移譲についても検討していくとの答弁であった。  
堀再生事業である、外来種駆除と景観形成を整えるためのケイトウ植栽は、町内外でも好評であるため積極的な推進をお願いした。

**税務町民課** 28年度の町税の徴収率は、96.5%である。差し押さえ物件も11件あり、今後も適正な徴収に努めるよう要望した。

**会計課** 公金運用方針については、今後も計画的に債券運用を推進し、資金管理の改善に、運用と調達の両面から取り組んでいくとの答弁であった。

**建設水道課** 水路整備後の残地整理の官民境界業務は負の遺産であり、完了までに10年以上かかるとの答弁に対し、早期解決をお願いした。  
町道10号線の整備の遅れが懸念されることにに対し、用地交渉を先行させ課内の職員も増員され鋭意早期完成を目指していくとの答弁であった。  
空き家対策については、空き家の劣化度を4段階に分けて判定しており、活用方法の判断材料としている。空き家率は現在5%の172戸であり、所有者不明はいない。活用方法はセミナーなどに参加し、福岡県や農商工との連携や町の協議会も設置されることから減免処置や補助等についても検討を望む。

**産業振興課・農業委員会** 園芸用水のPH値が木佐木・大溝地区で悪化している。いちご生産者の死活問題にもなりかねない。町の緊急的対応を要望した。

## 平成28年度大木町水道事業会計決算審査

おいしい水の安定的供給は当然のことながら、水道料金については、町民にとって、もっとも日常生活に密接なもので、事業経営の効率化、経済性の追求に努め、低料金で提供できることを切に要望した。

**出席委員全員一致により、原案の通り可決。**



就農への熱意を語る新規就農者



道の駅に併設される地域創業・交流支援センター(仮)の建設予定地

## 大木町教育委員会委員2名が任命されました。

皆様のお力をおかりしながら、大木町の学校教育、社会教育の発展に精一杯精進していきます。



渡邊 みのりさん

学校、家庭、社会が一体となった取り組みを進め、生涯を通して学び合い人間性を高める教育に邁進していきます。



山北 岩男さん

## 議会より意見書を提出しました。

### ○道路整備事業の補助金等の<sup>かさ</sup>高上げ措置の継続に関する意見書

提出者

大木町議会議員  
徳永 伸行

内容

地方が必要とする道路整備予算を安定的に確保すること及び道路財特法による補助率等の高上げ措置について、平成30年度以降も現行制度を継続することを求めるもの。

### ○全国森林環境税の創設に関する意見書

提出者

大木町議会議員  
中島 和正

内容

森林整備等に必要な財源に充てるため、都市・地方を通じて国民に等しく負担を求めることを基本とする森林環境税(仮称)の創設を求めるもの。

## 第5回 臨時会

### 10月臨時会に提案された議案の議決状況

提案された議案と議決結果は次のとおりです。

#### ◎専決処分の承認を求めることについて

平成29年度大木町一般会計補正予算(第4号)について

(全員賛成で承認 11:0)

#### ◎平成29年度大木町一般会計補正予算(第5号)について

(全員賛成で可決 11:0)

#### ◎大木町立大溝小学校屋内運動場大規模改修工事請負契約の締結について

(全員賛成で可決 11:0)

# 第4回 定例会

## 9月定例会に提案された議案の議決状況

提案された議案と議決結果は次のとおりです。

- ◎大木町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する  
基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について  
(全員賛成で可決 11:0)
- ◎大木町空家等対策協議会設置条例の制定について (全員賛成で可決 11:0)
- ◎平成28年度大木町一般会計歳入歳出決算の認定について  
(全員賛成で認定 11:0)
- ◎平成28年度大木町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について  
(全員賛成で認定 11:0)
- ◎平成28年度大木町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について  
(全員賛成で認定 11:0)
- ◎平成28年度大木町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について  
(全員賛成で認定 11:0)
- ◎平成29年度大木町一般会計補正予算(第3号)について  
(全員賛成で可決 11:0)
- ◎平成29年度大木町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について  
(全員賛成で可決 11:0)
- ◎(仮称)大木町地域創業・交流支援センター建設工事請負契約の締結について  
(全員賛成で可決 11:0)
- ◎大木町教育委員会委員の任命について(2名) (全員賛成で同意 11:0)

## 平成29年度 一般会計補正予算(第3号) 全員賛成で可決

1025万6千円 減 総額 57億7148万6千円

### 主な歳入

- 学童保育所施設整備(防犯対策強化)事業費補助金…………… 129万3千円
- 狭あい道路整備等促進事業費交付金…………… ▲196万5千円
- 財政調整基金繰入金…………… ▲2000万円
- 前年度繰越金…………… 500万7千円
- 狭あい道路整備等事業債…………… 180万円

### 主な歳出

- 児童福祉施設費…………… 421万2千円
- 土地改良施設維持管理事業…………… 300万円
- クリーク管理保全対策費…………… 430万円
- 保健体育施設…………… 216万3千円

## 平成29年度大木町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

180万6千円増 総額21億5189万4千円 全員賛成で可決

一般質問

ここが知りたい！  
訴えたい！

牟田口美智子 11  
益田 隆一 12  
古賀 知文 13

● 都市農村交流事業  
地域活性化にどう活かす  
● 大木町公共施設地球温暖化対策実行計画を通して  
職員を意識レベル向上を望む  
● 民生委員児童委員の活動に対し、  
行政によるサポートの推進を図れ！

中島 宗昭 14  
古賀 泰弘 15

● 花宗川改修の早期実現を願う  
● 新規就農給付金事業活用農業者の  
現況と課題及び対策は？  
● 町道10号線の進捗状況と  
5号線の現在の状況は？  
● 特産物の取り扱いと  
今後の町の考え方を問う



都市農村交流事業  
地域活性化にどう活かす

問

答

来町者を増やすシステムを  
つくり、農村活性化を図る

問

「子ども農村交流プ  
ロジェクト事業」につい  
て問う

①平成26年度から平成28年  
度までの春日北小学校と  
の交流事業での成果と課  
題は？  
②今後の事業の継続と展望

企画課長

○このプロジェクトは、総務  
省・文科省・国交省・環境省  
の4省連携事業である子ど  
も農山漁村交流による地域  
活性化モデル事業の採択を  
契機にスタート。  
○生産者と消費者を結びつけ  
て都市住民の安全・安心な  
暮らしに寄与し、本町の農  
村農業の活性化を図ること  
を目的。

○春日市で開催されたおおき  
マルシェについては、本町の  
農産物をツールに大木町や  
農家のことを知って頂き、大  
木町を訪れて頂くことにつ  
なきたい。  
○子ども夢学校事業について  
は春日市のいろいろな団体

に対して農業農村体験事業  
のPRを継続的に実施し、  
求めに応じて受け入れがで  
きるような体制を整えてい  
きたい。

《提案》

- 体験プログラムの充実
- 貸し布団の一括準備
- 事前打ち合わせを密にする
- ノウハウのまとめ  
(ルールや注意点など)
- 民泊家庭のモチベーション  
を上げる仕組みづくり
- 簡易宿泊施設の新設と利用
- 大木町の歴史・伝統・文化を  
学べる機会の設定
- 教育委員会とのタイアップ

問

道の駅の中にある  
「ママと赤ちゃんの部  
屋」について問う

①利用状況、利用促進のため  
の取り組み状況  
②町内外へのPR  
《聞き取り調査(子育てママ  
達20名程度)の内容》  
○わかりやすい場所にありこ  
ういう施設のある道の駅は  
少ないのでとてもありがた

い(大多数)

○手前の広い部屋には基本的  
に男性(パパ)も入れるよう  
にしてほしい。

○外から授乳室の存在がわか  
らない。

○授乳室入口に「これから先  
の男性の入室はご遠慮くだ  
さい」の表示がほしい。

○授乳室だけではなく広い部  
屋にもおむつ交換台を設置  
してほしい。(おむつ替えを  
するのはママだけではない)

○防犯・不審者対策

産業振興課長

○女性に優しい道の駅を目指  
し、授乳室、トイレについて  
は他にはない立派なもの  
と自負している。関係の皆様  
と協議しながら多くのこと  
を取り入れ改善していきた  
い。

○10月には子育て支援セン  
ターと共催でモニターツ  
アーという形で「道の駅」を  
利用頂きアンケートをとる  
予定。その声を反映させ使  
いやすい施設になるよう努

力したい。

《提案》

- 利用者ノート(利用者の声)  
の設置
- 公共施設での利用者マナー  
のPR
- こども未来課、福祉課など  
関係課との連携
- 子育て中の保護者からの意  
見の活用

他にも「大木町地域創業・交  
流支援センター」の役割と機  
能について質問しました。

※おおきマルシェについては広報おおき7月  
号p25に詳しく掲載しています。



「ママと赤ちゃんの部屋」で遊ぶ親子

# 平成28年度 大木町健全化判断比率及び資金不足比率の報告

## 健全化判断比率の状況

| 比率名         | 平成28年度(%) | 早期健全化基準(%) |
|-------------|-----------|------------|
| 1. 実質赤字比率   | —         | 15.00      |
| 2. 連結実質赤字比率 | —         | 20.00      |
| 3. 実質公債費比率  | 7.5       | 25.00      |
| 4. 将来負担比率   | —         | 350.00     |

※黒字のため「—」表示となります。

※**財政健全化判断比率**とは、財政の早期健全化や再生の必要性を判断する為のものとして、「**実質赤字比率**」「**連結実質赤字比率**」「**実質公債費比率**」「**将来負担比率**」の4つの財政指標を定めている。4指標とも数値が大きいほど財政状況は悪いとされる。

※実質赤字比率及び連結実質赤字比率は赤字額がないため算出していない。実質公債費比率は昨年と同じ。将来負担比率は将来にわたっての負担を収入が上回っているため算定しない。いずれの比率も国が定めた早期健全化基準を下回っている。

## 資金不足比率の状況

| 比率名           | 平成28年度 | 経営健全化基準(%) |
|---------------|--------|------------|
| 5. 水道事業資金不足比率 | —      | 20.00      |

※黒字のため「—」表示となります。

※資金不足額は生じていないため比率は算出していない。

## 株式会社大木町健康づくり公社アクセス経営状況報告

- ・平成28年度の入館者は、前年度比1万553人増の19万2883人。
- ・平成28年4月に発生した熊本地震により、プールの天井板が6箇所ずれ、大がかりな工事を行った。「くるるん液肥」を活用した大木町ブランド特別栽培米元気つくし「環のめぐみ」を一般予約に併せて多子世帯支援事業(行政半額補助)が加わり30トン、大木町産なたね油「環のかおり」は35本販売した。

## 一般社団法人サステナブルおおき経営状況報告

- ・**おおき循環センター**での生ゴミ収集状況1,198.54トン、メタン発酵消化液の活用は117.4ヘクタール、散布量5,139トン。管理学習棟での視察受け入れ団体182件、視察者2926人、見学料収入は101万8,700円。
- ・**菜の花プロジェクト(環のかおり)**は油かすを含め139万990円を売り上げ、廃油液体石鹼の製造販売は38万8,160円を売り上げた。
- ・**道の駅おおき**の来場者は、前年度比9790人減の23万5200人。
- ・**環境プラザ**ではリユース品販売等により、前年度比37万7,130円増の120万1,650円を売り上げた。

## 一般財団法人ひしのみ国際交流センター経営状況報告

地域住民主体の国際交流等の推進を通じて、国際社会で活躍できる人材を育成することを目的に各事業を計画し、実施した。

- |                  |   |
|------------------|---|
| <b>1 語学講座事業</b>  | ●ひしのみ英会話教室 ●Englishサークル ●ハングル講座         |
| <b>2 国際交流事業</b>  | ●こども英会話教室、子ども向け英会話教室(地域公民館事業)           |
| <b>3 広報啓発事業</b>  | ●広報誌(HIクラブ)の発行 ●フェイスブックの活用 ●ふるさと大莞まつり参加 |
| <b>4 青少年育成事業</b> | ●青少年ベトナム研修                              |
| <b>5 海外派遣事業</b>  | ●1名の研修生をオーストラリアへ派遣                      |



問

# 民生委員児童委員の活動に対し、行政によるサポートの推進を図れ!

答

## 地域包括支援センター等の充実により、負担軽減のための環境整備に努める

問

地域コミュニティの高齢化、核家族化等の進行により、民生委員児童委員の必要性が高まる一方で活動内容が多岐にわたったり、委員の欠損率が増加傾向にあると聞く。

また、委員の地域における理解や行政のサポートに欠如があるのではないかと町長に伺う。

町長

民生委員児童委員は地域の中心的な担い手として、情熱と使命感、そして、たゆまぬ努力によって役割を果たしてこられた。

今後、委員の必要性が高まる一方で、活動上の負担増が懸念されるので、無理なく活動を続けられるよう、一定の負担軽減を図る環境整備の改善に努めたい。



民生委員制度創設100周年  
シンボルマーク

問

民生委員児童委員協議会「民児協」の今後のあり方について、福祉課長に伺う。

福祉課長

①「民児協」の活動が地域に理解されず、効率的な活動や協力を受け難くなっているか。

今後とも、広報活動の充実、地域内における交流機会の促進、行政区長をはじめとする関係者、関係機関との連携強化について、積極的に調整を行う。

②「民児協」の活動が、多岐にわたり過ぎ、委員にとって負担になっていないか。

福祉課長

社会福祉制度の見直しによつて、対象者を分けず、総合的、包括的な支援を提供する方向に転換が進んでいる。関係者、関係機関との連携、協働が

重要と考えており、委員の活動範囲、活動量等について、十分議論、検討を進めていく。

③委員から、支援対象者との対応にあたり、関係機関とのパイプ役としての立ち位置に苦慮するとの意見を聞くが。

福祉課長

近年、社会福祉諸制度の創設や見直しにより、地域包括



支援センター等のつなぎ先も出ている。それらの行政機関との連携、協働により、委員の活動が、無理なく続けられるよう負担軽減を図り、環境整備に努める。

問

「民児協」の定例会に行政側は、福祉課と社会福祉協議会が出席することであるが、他の関係課もオール大木町として、出席してはどうか。町長に伺う。

町長

全ての町の職員も議会も民生委員の業務過大については、認識していると思う。今後、関係する課が積極的に連携を図り、協議会の皆様と意見交換の場を設けたい。また、今後、民児協の方々の善意だけに頼るのではなく、職務の再点検や処遇の改善などを上部官庁に対し要望活動に取り組んでいきたい。



## 大木町公共施設地球温暖化対策実行計画 を通して職員の意識レベル向上を望む

問

答

大木町が目指すべきビジョンを  
職員一人ひとりが共有し行動していく

問

2030年度まで  
に町の公共施設全体  
で2013年度比40・7%  
の温室効果ガスの削減を目  
指す大木町公共施設地球温  
暖化対策実行計画の進捗状  
況は？次のステージに向け  
て10年後、20年後の大木町  
のあるべき姿をどのように  
描いて考えているのか？

町長

暮らしの無駄を無くし、町  
の自然や資源を生かした持  
続可能な町ぐるみの挑戦を  
さらに進めていくことが10年  
後、20年後、住民が町に誇り  
を持ち、住みやすさを実感で  
きるまちづくりにつながるも  
のと確信をしている。

環境課長

2016年5月13日に閣  
議決定された国の地球温暖  
化対策計画に沿って決定して  
いるもので、国としては建物  
や設備の省エネ化や効率的な  
利用、再生可能エネルギーの  
導入や技術の積み上げ等によ

副町長

り実現可能な数値であり、達  
成しなければならぬ削減  
目標としている。町としても、  
非常に高い野心的な目標だ  
が着実に取り組みを進めてい  
きたいと考えている。

問

実行計画にある職  
員アンケート内容か  
らしても大木町の職員のレ  
ベルが問われる内容であ  
る。まずは目標達成のため  
ハード面の導入をする以前  
に職員の環境意識レベルの  
向上を求めないと町民に対  
し示しがつかないのでは？

問

急速な社会の変化に対応で  
きるように、職員も変わらな  
いといけない状況。職員のス  
キルアップを促すために、こ  
れまでも研修を積極的に取り  
入れている。職員の環境意識  
を高め、今回の目標も当然達  
成しなければならぬ目標  
として、職員と共有していく。

副町長

大木町の木質バイ  
オマスの熱源の活用  
を含めた再生可能エネル  
ギーでの検討も必要と考  
えるが。

熱として利用するというこ  
とになると、熱需要に合わせ  
た規模の設備投資等も必要に  
なり、燃料の安定供給も必要  
になる。

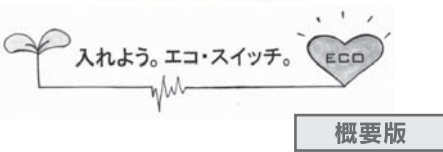
廃菌床の場合、基本的に町  
の中で循環させる考え方で堆  
肥化の研究を進めているが、  
廃菌床を含めバイオマスの熱

利用については近隣間伐材の  
活用など地域間連携による  
仕組みづくりも視野に検討し  
たい。

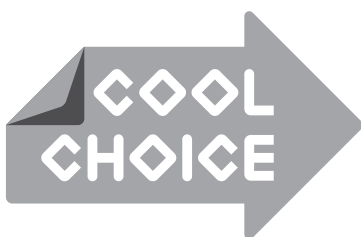
意見

大木町地球温暖化対策実  
行計画はこの内容で、554  
万400円もの税金が投入  
されている。あくまでも税  
金であり、これだけの内容  
をただ記録しておくという  
ことだけではなく、必ず実  
行し、達成するというプロ  
セスが重要かと思う。  
職員のレベルを高めるこ  
とができる絶好の機会であ  
り、ぜひ活かしてもらいた  
い。

### 第3次 大木町公共施設 地球温暖化対策実行計画 【事務事業編】



※大木町ホームページより参照



未来のために、いま選ぼう。

※クールチョイスとは温暖化対策に資する  
あらゆる「賢い選択」を促す国民運動。



## 町道10号線の進捗状況と5号線の現在の状況は？

問

答

町道10号線は平成31年度完了予定、  
町道5号線は31年度以降着手

**問** 町道10号線の自転車歩行者道路整備事業の進捗状況と完了予定を伺う。

建設水道課長

現在の道路交通網の充実に向けた町道整備の基本的な考え方として、安全安心な歩行空間を確保するため、町道10号線及び5号線の事業実施に取り組んでいる。町道10号線自転車歩行者道路整備事業は、平成23年度から、花宗川から三八松交差点までの1100メートルの区間を国の社会資本整備総合交付金を活用して事業着手し、整備を進めている。しかし国の予算が町の要望額に対して、当初90%台から平成27年度は75%、平成28年度は60%の配分にとどまり、事業の進捗状況は当初計画からは遅れている。用地取得においても一部難航しており、物件補償4件、用地関係は8件が交渉中であり、用地（補償費）の取得率約70%。事業完了年度は平成31年度を目標としている。

## 特産物の取り扱いと今後の町の考え方を問う

問

答

JA福岡大城と連携してGAP認証取得を支援

**問** 今後のわが町の特産物の振興について考えを伺う。

産業振興課長

イチゴ、キノコ、グリーンアスパラガスについては県内でも屈指の産地を形成している。また「環のめぐみ」や「環のかわり」は有機液肥くるっ肥を活用し、県の減農薬減化学肥料栽培認定を受けた安全、安心、おいしい地産地消作物としてブランド化を進めている。本町の農業、農産物をどう振興していくかは非常に重要な課題である。水稲にかわり、小麦や大豆、菜種、イチゴ、グ

リーンアスパラガスなど農作物の収益性を向上させる上で暗渠排水工事が不可欠であり、早期完了に向け町土地改良区を支援していく。それに加えて、農地の腐植率を高め土壌構造を団粒化することで畑作物の生産性は向上すると言われている。町内にはキノコ廃菌床が潤沢に存在しており、この活用を考えている。本町農業を振興する上ではGAP認証取得は避けて通れない課題でJA福岡大城と連携して支援していきたい。このほか新規就農者や担い手の確保、育成を初め農業全般の施策を展開していきたい。

**問** 大溝小学校から大木中学校へ通じる町道5号線の自転車歩行者道路整備事業の計画は。

建設水道課長

町道10号線完了後の次期事業として予定している。町道10号線の整備が予定より遅れており、完了予定年度平成31年度以降の事業着手を予定している。





問

## 花宗川改修の早期実現を願う

答

河川改修事業完成は平成41年度の予定



花宗川左岸堤防

問

花宗川改修の進捗状況は。

建設水道課長

花宗川河川改修事業は昭和43年に着手され、平成41年度完成予定となっております。

平成28年度に旧酒見堰を撤去し、新酒見堰の本格的な供用を開始している。さらに現在下田橋架け替え工事に伴い下田橋付近の河川幅は、約20メートルから約40メートルに拡張される予定である。

問

今後の改修予定と排水対策は。

建設水道課長

引き続き最下流域の大川市での改修が予定されている。また上流地域八女市で、2箇所洪水対策調節池を整備中で平成31年度完成予定である。

町長

新橋川の強制排水ポンプ設置については、花宗川改修期成会を通して要望していく。

問

花宗川左岸町道10号線篠溝上区より観音丸水門までの堤防舗装計画はないのか。

建設水道課長

県として大木町運動公園ふれあい橋より観音丸水門までは実施しているが、未舗装部分について事業計画はないが要望していく。

問

堤防舗装により堤防の強化につながるのと同時にウォーキングやサイクリングコースとしても活用されることから、県には早期実現を強く要望してほしい。

町長

県の方には町の考えを申し上げ、改修計画の具体的なものについて今後協議を進めていく。

問

## 新規就農給付金事業活用農業者の現況と課題及び対策は？

答

サポートチーム等の巡回営農指導でチェックとサポートを実施

問

本町における農業次世代人材事業活用者の推移と人数は。

産業振興課長

平成24年度より28年度までの5年間で、合計32名の新規就農計画を認定し、経営開始型交付金を交付している。

問

受給者決定の審査は厳格になされているのか。

産業振興課長

新規就農認定審査会で就農希望者との面談と打合せ、就農計画の妥当性を厳格に審査し、認定の可否を決定している。

問

今まで本町において受給不適格者及び離農者はいないのか。

産業振興課長

病気や家庭の事情等によりやむなく3名の方が離農。また就農計画通り営農活動ができていないとの判断から他3名の交付金の交付を中止している。

問

新規就農者を育てる為にも就農後の営農指導は的確になされているのか。

産業振興課長

新規就農サポートチームやJA生産部会役員等で巡回営農指導を実施し、営農計画に沿って営農を行っているのかチェック。営農不安解消のためのフォローに努めている。

問

営農向上のために町独自の研修制度の必要性はないか。

産業振興課長

各生産部会の技術担当役員や先進的な研修生受け入れ農家、県農業大学校での研修などで、現段階では機能しているものと考えている。



夫婦で頑張る新規就農者

# 第10回

# 議

# 会

# ク

# イ

# ズ

## 正解はどっち？



### Q1

#### 予算の議決

予算の提案権は、町村長に専属しており、議会は、これを審議して原案可決なり、修正可決あるいは否決をする。修正は、議会の判断だけでできるでしょうか。

- ①できない。
- ②できる。

### Q2

最近国会で議員辞職が話題になっている。議員が辞職しようとするとき、いつでも自由に辞職できるでしょうか？

- ①自分の好きな時に辞職できる。
- ②自由には辞職できない。

答えは解説を参照してね。

### 解説(抜粋)

### Q1

予算の提案権は、町村長に専属しており、議会は、これを審議して、原案可決なり、修正可決あるいは否決をする。修正に当たっては、減額修正はもちろん、増額修正もできるが、増額修正する場合は、町村長の提案権を侵すことになるような修正はできないものとされている。

(地方自治法第96条第1項及び第97条第2項)

正解①

### Q2

地方公共団体の議会の議員は議会の許可を得て辞職することができる。但し閉会中においては、議長の許可を得て辞職することができる。

(地方自治法第126条)

議員の辞職を議会の許可にならしめたのは、住民の選挙によって選ばれた議員が自己の恣意によってみだりに辞職することを抑止する趣旨である。

正解②

議会の様子は議場の傍聴のほか、役場の1階ロビーでテレビ放映しています。見に来てね。

訂正  
とお詫び

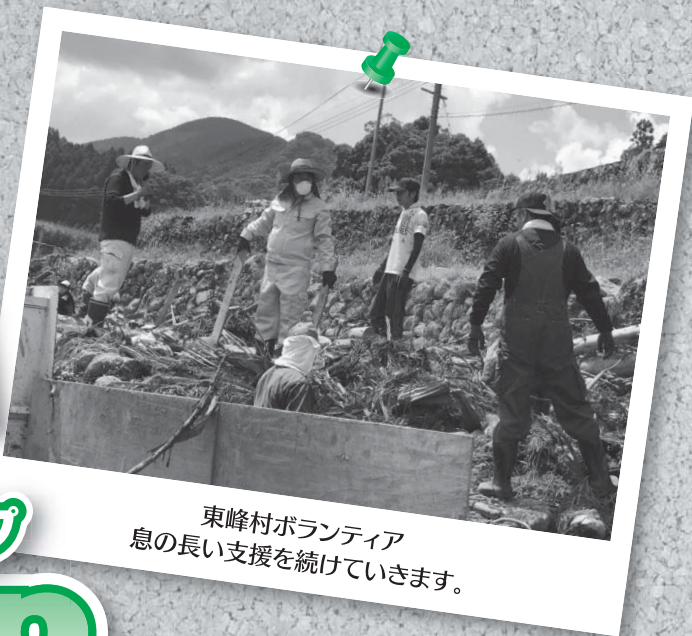
No.127号に掲載しておりました、議会クイズ、Q1解説に語句の訂正がありました。1行目「表記」ではなく「表決」でした。訂正してお詫びいたします。



役場1階ロビーで生中継



町内各幼保園の運動会。  
議会からも声援を送りました。



東峰村ボランティア  
息の長い支援を続けていきます。

# ジャンプアップ Jump Up ☆ 町議会



ポイ捨てゴミなくし隊に参加。



奇跡の3ショット!!  
町長、議長…背景に「おお貴族!」



堀んピック 今年も3名の議員が参加。  
堂々の準優勝。



議場で婚活♡  
6組中4組のカップリングに成功。

# 文教厚生常任委員会視察研修レポート

○視察月日

平成29年8月21日～22日

○視察先

中村学園事業部ケータリングセンター調理部  
那珂川町・川崎町・香春町

○視察目的

学校給食のあり方と運営の検討

老朽化が進む本町学校給食センターの今後の在り方を研究し、施策に活かすための視察を実施。

視察先では、直営センター方式や民間委託など様々な方法で学校給食を提供している。

直営施設での運営では行政が責任を持ち、除去食などのアレルギー対策もしっかりととした給食が提供できるものの、施設の更新や人件費の増加など多額の負担が発生していた。また、民間委託した場合は経費の大幅な削減が見込まれるが、

特に留意すべき食の安全性の担保や委託先への指導など課題も大きい。

委員会として、今回の視察で得た情報を精査し、よりよい選択肢を示していきたい。



中村学園ケータリングセンター施設見学



香春町学校給食センターとの意見交換会

## シルバー人材センターとの意見交換会(7月21日)

大木町シルバー人材センターの現状と課題を受け、意見交換を行った。主な内容として、全国的に会員数が減少を続けるなか、四期連続の会員増を果たしているものの、会員の希望する職種と受注する仕事のミスマッチがある。特に農作業に

ついては、国や町の支援を受けて人材育成に取組んでいるが、高齢による引退も発生しており、現状維持が続いている。委員会から会員配分金改定検討や働く環境改善の意見を出させていただいた。

新たな就業の場の創出や会員の技能向上など、力強い取組みを進めてもらいたい。



シルバー人材センターとの意見交換会

いて意見交換を実施した。どの園からも保育の現状を聞くと、厳しい状況も察せられた。支援の必要な事に適切に対応し、未来ある子どもたちを守り育むため、委員会としても関係機関と密に連携を図り行動していきたい。

その他の要望として、「運動会など総合体育館の使用時間の前倒し、運動公園に洋式トイレの設置や木陰のある遊び場ができないか」などの意見が出された。こちらも改善に向け協議していく。

## 幼稚園・保育園、園長との意見交換会(8月8日)

各園の運営状況と課題、子ども子育て支援事業につ



幼稚園・保育園園長先生との意見交換会

# 総務建設産業常任委員会 意見交換会(8月22日)

## 女性農業活躍者(9名)との 意見交換会を開催

参加者  
総務建設産業常任委員会委員  
女性農業活躍者  
産業振興課  
オブザーバー 企画課

大木町で農業に携わり活躍しておられる女性農業活躍者と6次産業化での問題点や、今後取り組みでもらいたい事などについて意見を交わした。

6次産業化については、自ら実践してこられた方々から、開発から販売まで個人でやるのには限界がある。特に販売ルートの開発などは難しい。また製品をアピールする為のデザインなど素人では難しいとの切実な意見が出された。

製品が売れても、貯蓄が残らないのが現状とのこと。大木ブランドとして販売強化が図れないか、ネット販売、スマホでの販売など検討



活発な意見が交わされた意見交換会

できないかなど提案が出された。今、道の駅を体験型農場の拠点として作り上げるため、地域創業・交流支援センター(仮称)建設を進めている。道の駅周辺には農場の充実を図っており、アスパラ、イチゴ、トマト、枝豆、いちじく、ヒシなど、大木町の特産品の収穫体験等充実を図ってみてはどうかなどの意見も出され有意義な意見交換会となった。

## 主な議会活動

### 8月

- 福岡県南水道企業団議会定例会(1日)
- 八女西部広域事務組合決算審査(3日~4日)
- 花宗太田土木組合議会定例会(3日)
- 幼稚園・保育園園長先生と文教厚生常任委員会との意見交換会(8日)
- 全員協議会(9日)
- 久留米柳川線期成会総会(18日)
- 女性農業者と総務建設産業常任委員会との意見交換会(22日)
- 久留米広域市町村圏事務組合議会(28日)
- 西鉄天神大牟田線久留米一大牟田複線化促進期成会総会(28日)
- 久留米地方拠点都市地域整備促進協議会総会(28日)
- 矢部川改修期成会同盟会総会(29日)

### 9月

- 八女西部広域事務組合議会(1日)

- 議会運営委員会・全員協議会(4日)
- 第4回定例会(7日~22日)
- 決算審査特別委員会(11日~14日)
- 議会報発行特別委員会(22日)

### 10月

- 全員協議会(2日、10日、16日、19日、25日)
- 福岡県市町村職員退職手当組合議会(2日)
- 福岡県町村議会議長会理事県外視察(5日~6日)
- 主要地方道久留米柳川線道路整備促進期成会(6日)
- 議会運営委員会(10日)
- 第5回臨時会(10日)
- 大川・大木一般廃棄物処理対策連絡協議会(11日)
- 議会報発行特別委員会(11日、17日、26日)
- 一般国道442号(大分~大川)道路整備促進期成会定例総会(18日)
- 福岡県南水道企業団議会議員行政視察(26日~27日)
- 大木町商工会役員視察研修(27日~28日)

# おおきの人

町内で活躍されている皆さんを紹介させていただく、“おおきの人”。

ご近所で紹介したい方を議会事務局までご連絡ください。たくさんの情報をお待ちしています！

広報委員が取材にお伺いしますので、ご協力をお願いします。

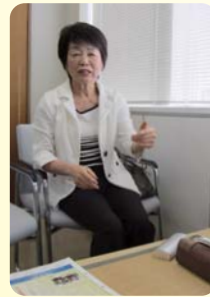
## 民生委員児童委員は身近な相談役

### 民生委員制度創設100周年、

### 民生委員児童委員協議会(民児協)会長に聞く

会長 鎌田 かまた 恵美子 えみこ

聞き手…古賀 知文(以下古賀)



古賀 民生委員児童委員(以下…民児委員)の活動はどのようなものですか。

鎌田 私たち民児委員は、高齢者や障がい者、生活困窮者、子育てや介護をしている方等の地域の身近な相談相手となり、自然災害に備えての支援等、行政や専門機関をつなぐパイプ役を務めています。

古賀 民児委員の活動内容が多岐にわたり負担軽減が必要に感じますが。

鎌田 高齢化による認知症の増加、核家族化・少子化による親子間のコミュニケーションの減少により、特殊詐欺や悪質商法被害など問題は複雑多様化しています。民児委員自身が高齢者や仕事・介護をしながらの人もいて、負担は大きいと思います。今後、関係行政と協議しながら活動内容を検討していきたいですね。

古賀 今後、民児委員の活動を充実させるには。鎌田 民児委員の活動が増加傾向にあり、やはり行政をはじめとする専門機関との連携協働が必要

に感じます。社会福祉協議会や地域包括支援センターの充実をはかっていたら、民児委員の活動する環境整備が必要ではないでしょうか。

古賀 民児委員の活動でやりがいを感じる場面は。

鎌田 地域のお困りの方からの連絡をいただき、相談者の支えになれたと実感を得たときに喜びを感じますね。私自身は、地域の方々より深く信頼される関係を築いていきたいと考えています。民児委員はボランティアですが、特別職の地方公務員であり、民児協会長としては、各民児委員にやりがいを感じてもらい、民児委員に対する慰労の念を望みたいですね。



## お気軽に議会の傍聴を

9月定例会の傍聴に、延べ30名の方にお越しいただきました。

どうもありがとうございます。

次回の定例会は12月上旬に開会の予定です。日程及び議事内容は、町ホームページでご確認ください。または、議会事務局へ直接お尋ねください。

## 大木町議会だより

発行責任者 議長 松枝友久  
議会報発行特別委員会 益田隆一／中島和正／山北清四郎／古賀知文  
徳永伸行／蕪方英二

ご意見や議会に関するお尋ねごとはこちらまで

大木町議会事務局

TEL:32-1013(内線161)・32-1249(直通)

FAX:32-1054 Eメール:gikai\_jimukyoku@town.ooki.lg.jp